

ご説明資料

平成25年度第3四半期決算について

平成26年1月31日



ずっと先まで、明るくしたい。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化などに伴い変化することにご留意ください。

(余 白)

【平成25年度第3四半期連結決算の概要（対前年同四半期）】

- ・収入面では、電気事業において、電気料金の値上げや燃料費調整の影響による料金単価の上昇などにより電灯電力料が増加したことや、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づく交付金が増加したことなどから、売上高は前年同四半期に比べ14.8%増の1兆3,007億円、経常収益は14.9%増の1兆3,112億円となりました。
- ・一方、支出面では、電気事業において、修繕費の効率化や人的経費の削減などコスト削減に努めましたが、為替レートの円安の影響により燃料費が増加したことや、再生可能エネルギー電源からの購入電力料が増加したことなどから、経常費用は2.4%増の1兆4,072億円となりました。
- ・以上により、経常損益は前年同四半期に比べ1,371億円赤字幅が縮小し960億円の損失となりました。
- ・また、経営合理化の一環として不動産や有価証券を売却したことや、退職給付信託を設定したことに伴い特別利益に498億円を計上したことなどから、四半期純損益は1,757億円赤字幅が縮小し590億円の損失となりました。

平成25年度第3四半期決算

連結

(億円、%)

	H25/3Q	H24/3Q	増 減	増減率
経常収益	13,112	11,411	1,700	14.9
売上高[再掲]	13,007	11,326	1,681	14.8
経常費用	14,072	13,743	328	2.4
経常損益	960	2,331	1,371	-
特別利益	498	-	498	-
四半期純損益	590	2,347	1,757	-

個別

(億円、%)

	H25/3Q	H24/3Q	増 減	増減率
経常収益	12,436	10,720	1,715	16.0
売上高[再掲]	12,255	10,661	1,593	14.9
経常費用	13,420	13,088	331	2.5
経常損益	983	2,368	1,384	-
特別利益	532	-	532	-
四半期純損益	516	2,371	1,854	-

(参考)主要諸元表

	H25/3Q	H24/3Q	増 減
販売電力量	622億kWh	618億kWh	4億kWh
原油 CIF 価格	109\$/b	114\$/b	5\$/b
為替レートの	99円/\$	80円/\$	19円/\$
原子力設備利用率	0%	0%	0%

平成25年度業績予想及び配当予想

【平成25年度通期業績予想】

- ・通期の利益については未定としておりましたが、最近の需給動向等を踏まえ、原子力発電所の年度内停止を前提に予想値を算定しましたので、公表いたします。
- ・電気事業において、為替レートの円安の影響による燃料費の増加などがありますが、電気料金の値上げによる電灯電力料の増加などにより売上高が増加することや、費用全般にわたるコスト削減や資産売却などの経営効率化に取り組んでいることなどから、経常損益・当期純損益は前期に比べ赤字幅が縮小する見通しです。

連結

(億円、%)

	25年度予想	24年度実績	増 減	増減率
売上高	17,800	15,459	2,341	15.1
営業損益	1,250	2,994	1,744	-
経常損益	1,600	3,312	1,712	-
当期純損益	1,250	3,324	2,074	-

個別

(億円、%)

	25年度予想	24年度実績	増 減	増減率
売上高	16,800	14,488	2,312	16.0
営業損益	1,350	3,058	1,708	-
経常損益	1,600	3,399	1,799	-
当期純損益	1,150	3,380	2,230	-

(参考)主要諸元表

	25年度予想	24年度実績	増 減
販売電力量	848億kWh	838億kWh	10億kWh
原油CIF価格	109\$/b	114\$/b	5\$/b
為替レート	101円/\$	83円/\$	18円/\$
原子力設備利用率	0%	0%	0%

【期末配当予想】

- ・配当につきましては、安定配当の維持を基本として、業績などを総合的に勘案し、決定することとしております。
- ・当年度の個別業績につきましては、通期で1,150億円程度の純損失を予想しております。
- ・こうした厳しい状況を踏まえ、期末配当につきましては、誠に申し訳なく存じますが、中間配当に引き続き無配とさせていただく予定です。

平成25年度第3四半期決算〔個別〕

販売電力量

(百万kWh、%)

		H25/3Q	H24/3Q	増 減	前年同期比
特 定 規 模 外	電 灯	20,756	20,636	120	100.6
	電 力	3,922	3,851	71	101.8
	電 灯 電 力 計	24,678	24,487	191	100.8
特 定 規 模 需 要		37,539	37,345	194	100.5
販 売 電 力 量 合 計		62,217	61,832	385	100.6
再 掲	一 般 需 要	44,263	43,750	513	101.2
	大 口 電 力	17,954	18,082	128	99.3

発電電力量

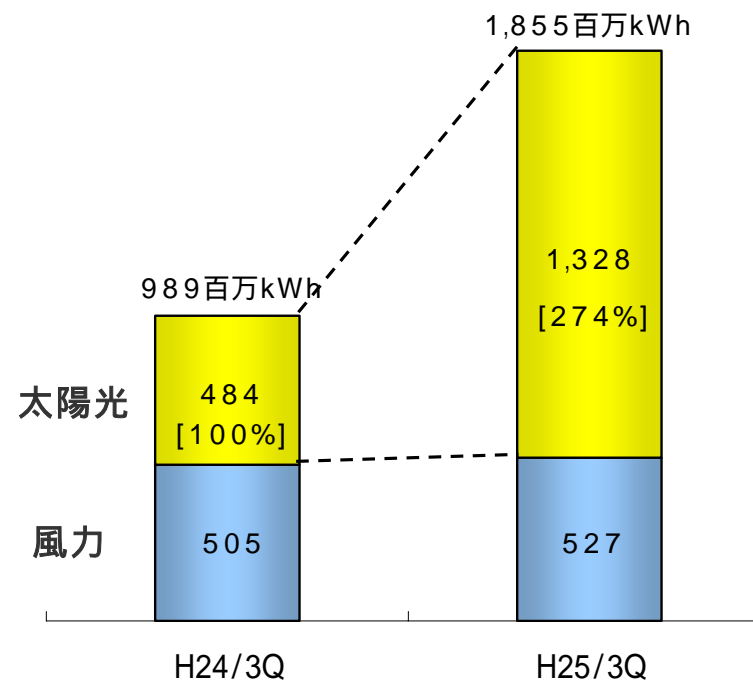
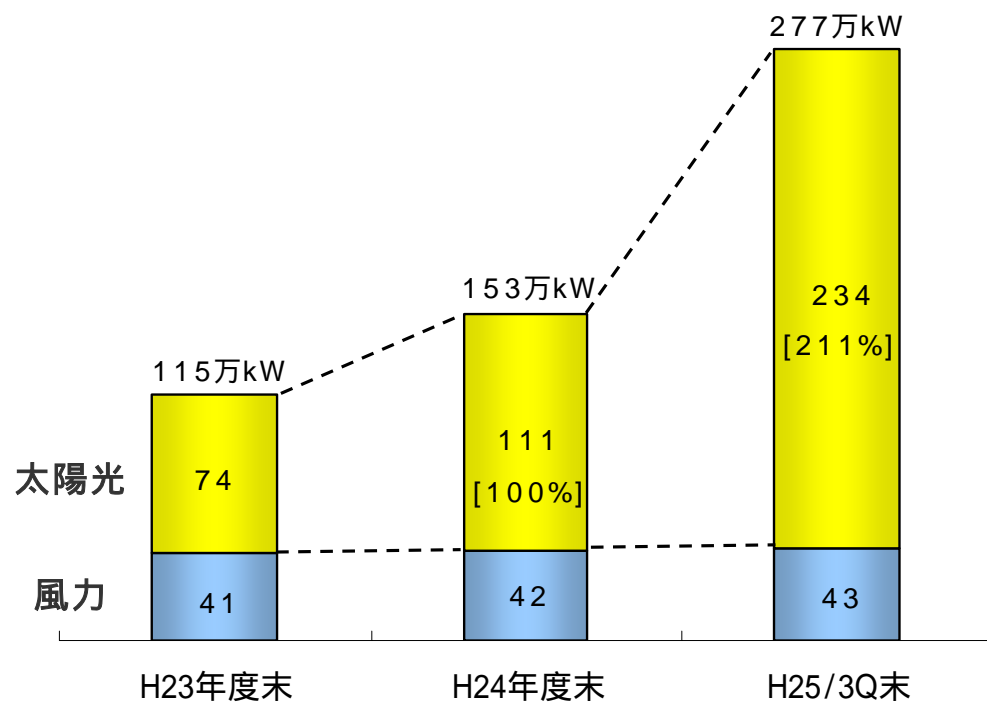
(百万kWh、%)

		H25/3Q	H24/3Q	増 減	前年同期比
自 社	水 力 (出 水 率)	3,028 (83.3)	3,900 (112.2)	872 (28.9)	77.6
	火 力	46,024	45,012	1,012	102.2
	原 子 力 (設 備 利 用 率)	- (-)	- (-)	- (-)	-
	新エネルギー等	1,028	1,030	2	99.8
	計	50,080	49,942	138	100.3
他 社 (新エネルギー等再掲)		17,658 (2,163)	15,878 (1,463)	1,780 (700)	111.2 (147.8)
融 通		934	2,087	1,153	44.7
揚 水 用		539	589	50	91.5
合 計		68,133	67,318	815	101.2

(参考) 太陽光・風力の設備導入及び電力購入の状況〔他社〕

[設備量]

[購入電力量]



	H24/3Q	H25/3Q
発受電電力量に占める割合	1.5%	2.7%

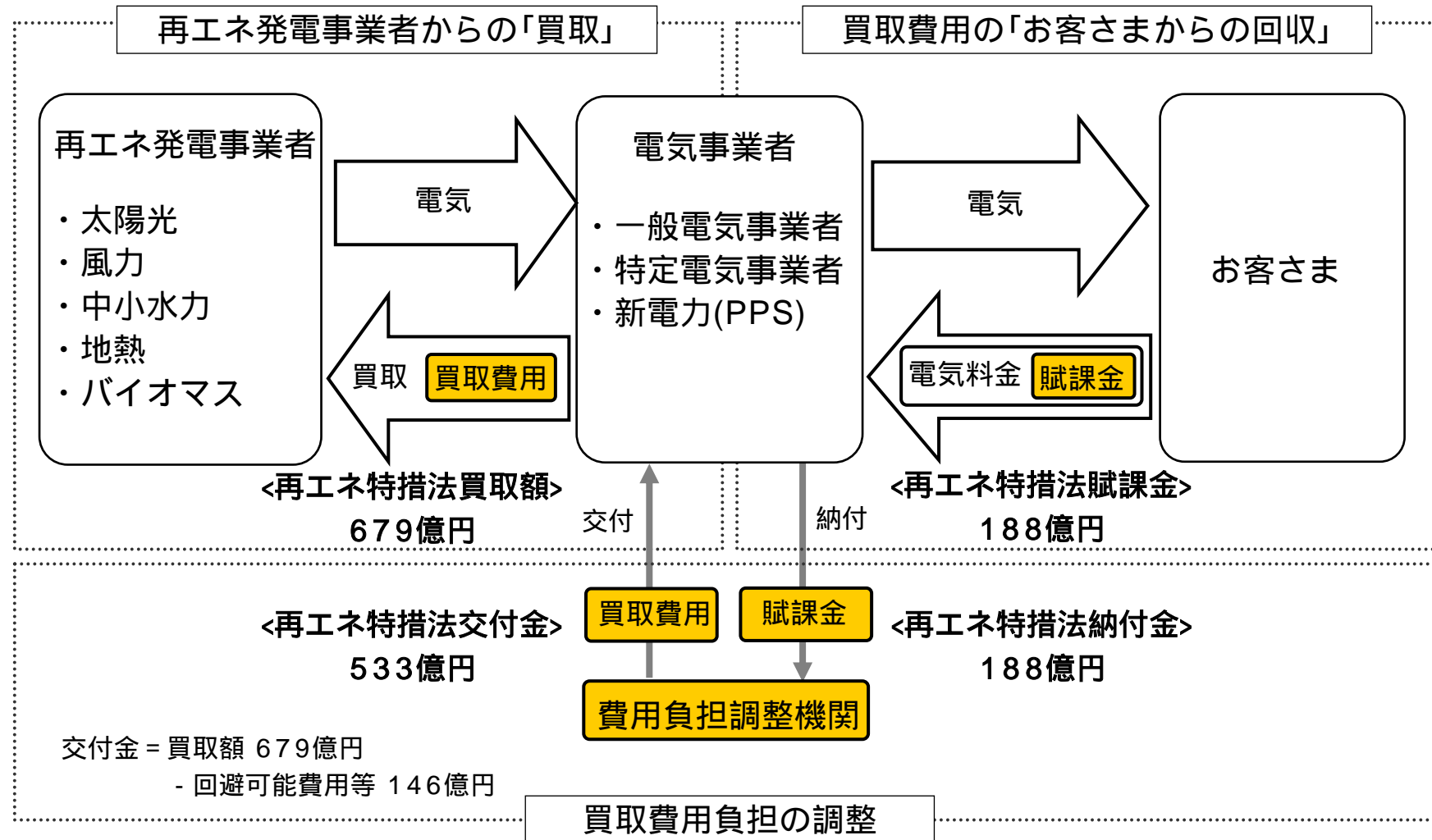
平成25年度第3四半期決算〔個別〕

【収支比較表（個別）】

(億円、%)

		H25/3Q	H24/3Q	増 減	前年同期比	主な増減説明
経常収益	電 灯 料	4,605	4,196	408	109.7	電気料金値上げ 570 H25燃料費調整額 479 再エネ特措法賦課金 118 (188 69)
	電 力 料	6,549	5,856	693	111.8	
	(小 計)	(11,154)	(10,052)	(1,101)	(111.0)	
	そ の 他	1,281	667	613	191.9	再エネ特措法交付金 428 (533 105) 受取配当金 113
	(売 上 高)	(12,255)	(10,661)	(1,593)	(114.9)	
合 計		12,436	10,720	1,715	116.0	
経常費用	人 件 費	804	1,200	395	67.0	給料手当 235 退職給与金 132
	燃 料 費	5,437	4,953	483	109.8	レート差 819 CIF差 198 出水減 212 火力発電構成差 246 購入電力増 175
	購 入 電 力 料	2,448	2,055	392	119.1	他社購入電力料 595 (再エネ 369 取引所取引 213) 地帯間購入電力料 202 [再掲：再エネ特措法買取額 533 (679 146)]
	修 繕 費	744	1,041	296	71.5	原子力 120 配電 75 汽力 46
	減 価 償 却 費	1,300	1,362	62	95.4	
	支 払 利 息	285	265	20	107.7	
	公 租 公 課	639	646	6	99.0	
	原子力バックエンド費用	159	149	10	106.8	原子力発電施設解体費 10
そ の 他	1,599	1,413	185	113.1	原子力損害賠償支援機構負担金 126 再エネ特措法納付金 118 (188 69) 諸経費 80	
合 計		13,420	13,088	331	102.5	
(営 業 損 益)		(824)	(2,122)	(1,298)	(-)	
経 常 損 益		983	2,368	1,384	-	
渴 水 準 備 金		43	22	65	-	
特 別 利 益		532	-	532	-	固定資産売却益 237 退職給付信託設定益 217 有価証券売却益 53 関係会社株式売却益 24
法 人 税 等		108	18	127	-	法人税等調整額 125
四 半 期 純 損 益		516	2,371	1,854	-	

(参考) 「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の仕組み



平成25年度第3四半期決算

【連結貸借対照表】

- ・資産は、減価償却が進んだことや、当社保有株式の一部を抛出し、退職給付信託を設定したことによる固定資産の減少などにより、前期末に比べ731億円減の4兆4,533億円となりました。
- ・負債は、有利子負債の増加はありましたが、「退職給付に関する会計基準」(平成24年5月改正)を適用²したことや、退職給付信託を設定したことによる減少に加え、前期末に計上した未払の工事代金の支払による減少などにより、466億円減の3兆9,221億円となりました。
- ・純資産は、「退職給付に関する会計基準」を適用したことによる増加はありましたが、四半期純損失の計上や、退職給付信託を設定したことによるその他有価証券評価差額金の減少などにより265億円減の5,312億円となり、自己資本比率は11.5%となりました。

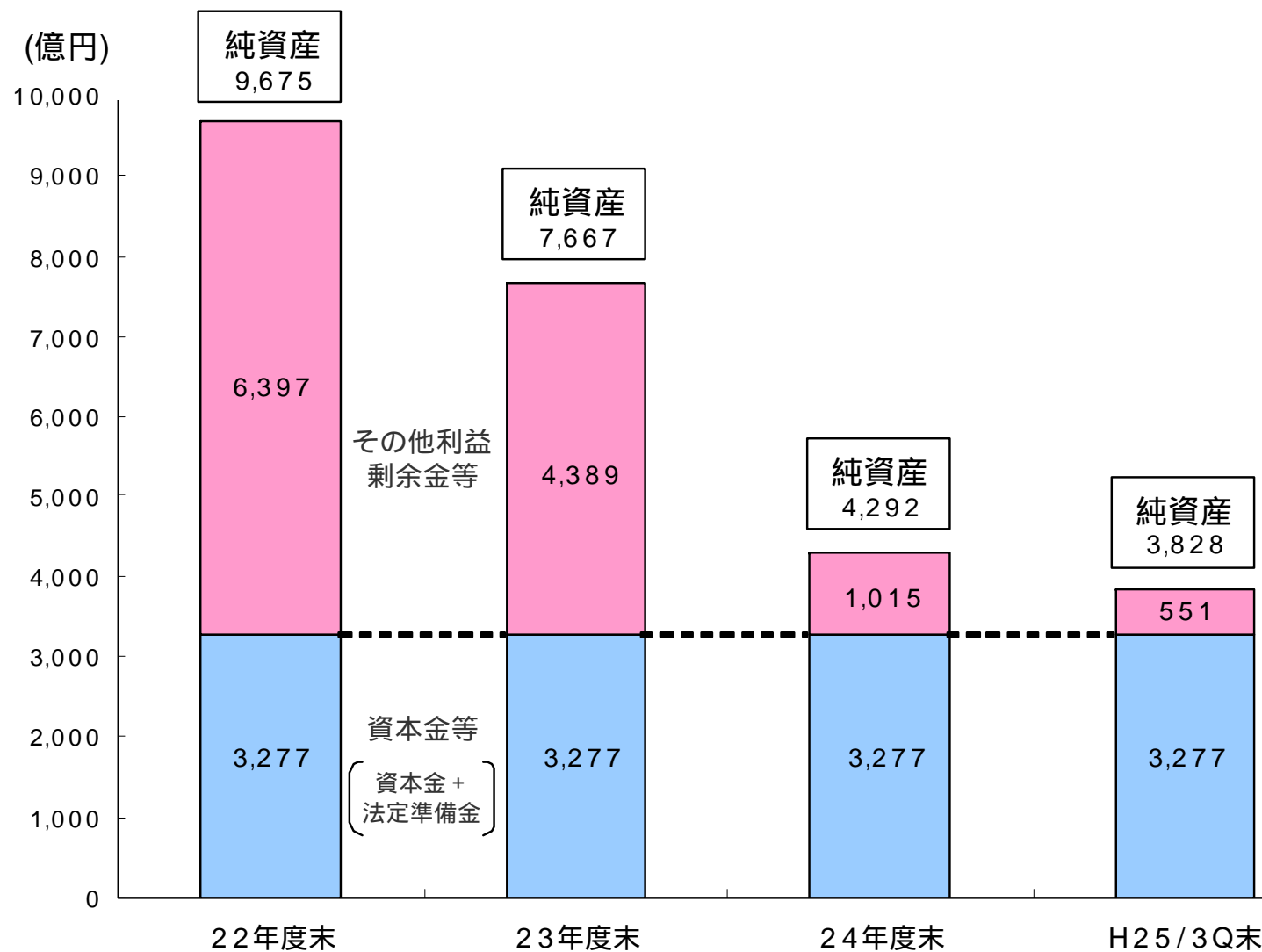
連結		(億円)		
	H25/3Q末	24年度末	増減	
総資産	44,533	45,265	731	
負債	39,221	39,687	466	
有利子負債残高	30,344	29,107	1,237	
純資産	5,312	5,577	265	
自己資本比率(%)	11.5	11.9	0.4	

個別		(億円)		
	H25/3Q末	24年度末	増減	
総資産	41,457	42,017	559	
負債	37,629	37,724	95	
有利子負債残高	29,169	27,890	1,278	
純資産	3,828	4,292	464	
自己資本比率(%)	9.2	10.2	1.0	

- 1 保有株式の一部を抛出し退職給付信託を設定
【連結 影響額】資産 320億円 負債 320億円 純資産 - 億円 (四半期純損益157億円 その他有価証券評価差額金 157億円)
- 2 平成24年5月に改正された「退職給付に関する会計基準」を第1四半期から適用し、従来は簿外であった未認識項目をオンバランス化し、退職給付債務等の計算方法を変更(未認識項目のオンバランス化は連結財務諸表のみについて適用)
【連結 影響額】資産 227億円 負債 700億円 純資産473億円(個別純資産影響額200億円)

(参考) 当社の財務状況の推移〔個別〕

- ・23年度から続けての損失計上により、当社の財務状況は急速に悪化



経営効率化の進捗について〔個別〕

【平成25年度経営効率化の進捗】

- ・4月に公表しました経営効率化3か年平均1,400億円規模の進捗状況につきましては、第3四半期では、計1,850億円の費用低減、131%を達成しました。
- ・低減額の内訳は、減価償却費170億円、修繕費740億円、人的経費480億円、その他経費390億円などです。
- ・資産売却関係につきましては、平成24年12月公表時は売却額140億円を想定していましたが、その後、株式の退職給付信託なども含め、可能な限りの追加売却を検討・実施した結果、第3四半期では、売却額等681億円、売却益等532億円を計上しました。
- ・現在、原子力発電所の再稼働の見通しが依然として不透明な状況であることから、平成25年度は、短期限定の取組みとして、修繕費や諸経費をはじめとした費用の更なる繰延べや支出抑制による費用削減の深掘りに引き続き取り組んでいるところです。

費目	H25料金原価織込 効率化額(億円)	第3四半期累計効率化(注1)	
		実績(億円)	進捗率
減価償却費	190	170	89%
修繕費	470	740	157%
人的経費	480	480	100%
需給関係費	60	^(注2) 70	^(注2) 117%
その他経費 (諸経費等)	210	390	186%
費用計 (需給関係費除く)	1,410 〔1,350〕	^(注2) 1,850 〔1,780〕	^(注2) 131% 〔132%〕

(注1) 当面の支出抑制のための実施時期繰延べを含む

(注2) 需給関係費については、第2四半期に原子力の再稼働がなく、需給バランスの前提が想定と大きく異なり、比較にならないことから、第1四半期決算時点の実績を記載。

資産売却関係		第3四半期累計実績(億円)(注4)	
		売却額等	売却益等
固定資産	九電記念体育館用地、九州エネルギー館、桜坂研修所、恵比寿荘、渡辺通駐車場用地、社宅跡地等	266	237
有価証券	株式等	94	78
	退職給付信託(注3)	320	217
合計		681	532

(注3) 当社保有株式を将来の退職給付に充てるために信託したもの
(収益は損益計算書の退職給付信託設定益に計上)

(注4) 億円未満は切り捨て